

あいかわ 議会だより

第 190 号

令和8年7月15日発行

ひまわり

空までとどけ

- ・ 愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
など全10件の議案を可決 P.2
- ・ 10人の議員が一般質問に登壇 町政を問う... P.5~10
- ・ 令和7年度政務活動費報告 P.12~13

〈第2回定例会〉

議会クイズ 抽選で3名の方に
商品券が当たる！

スマホで簡単応募

詳しくはP11をご覧ください



責任者 議会議長 山中 正樹
年4回発行

令和8年7月15日

2026 愛川町議会

令和8年第2回愛川町議会定例会が、5月19日から29日まで、会期11日間（本会議開催日4日間）にわたり開催され、条例、補正予算及び事件議案など、10件の町長提出議案を審議し、全議案を可決しました。



令和8年第2回愛川町議会定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
5	19	火	本会議	専決処分の承認（3件） 町長提出議案の説明、質疑、討論、採決 継続費繰越計算書の報告 繰越明許費繰越計算書の報告 公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告 水道事業会計予算繰越計算書の報告
			総務建設 常任委員会	所管事務調査
			教育民生 常任委員会	所管事務調査
	21	木	本会議	一般質問（6人）
	22	金	本会議	一般質問（4人）
	29	金	本会議	出納検査結果報告（3件） 町長提出議案の総括質疑、討論、採決 町長提出議案（追加）の説明、質疑、討論、採決

専決処分の承認
（条例議案・補正予算）

◎愛川町税条例の一部改正
（賛成全員）

「地方税法」等の一部改正に伴い、軽自動車税環境性能割を廃止するとともに、現行の軽自動車税種別割という言葉が、単に「軽自動車税」に整理されたことから、専決処分により所要の改正を行ったものです。

【施行期日】

令和8年4月1日

◎愛川町国民健康保険税
条例の一部を改正する条例の一部改正

（賛成10人、反対3人）
地方税法施行令の一部が改正されたことに伴い、

国民健康保険税の基礎課税額に係る課税限度額が引き上げられるとともに、子ども・子育て支援納付金課税額に係る課税限度額が新設されたこととあわせて、低所得者の軽減措置を拡大するため、5割軽減及び2割軽減の対象世帯に係る軽減判定所得基準の見直しが行われたことから、専決処分により所要の改正を行ったものです。

【施行期日】

公布の日

◎令和8年度愛川町一般会計補正予算（第1号）

（賛成全員）
歳入歳出予算の総額に、それぞれ675万6千円を追加し、一般会計の総額を158億1,575

条例議案

◎愛川町行政手続条例の一部改正
（賛成全員）

行政手続法の一部改正に伴い、国の手続きにおける不利益処分に係る通知について、インターネットによる閲覧等により必要な情報を確認できるようにすることを踏まえ、町の手続きにおける

【施行期日】 公布の日

◎愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部改正
（賛成全員）

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部改正に伴い、葬祭補償の定額部分の額が引き上げられたことから、所要の改正を行うものです。

【施行期日】

公布の日

補正予算

◎令和8年度愛川町一般会計補正予算（第2号）
（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に、それぞれ8,781万1千円を増額し、一般会計の総額を159億356万7千円としたものです。主な内容は、新規就農者育成総合対策事業費補助金を活用して、新規就農者に対し、農業機械の初期投資に係る導入支援として補助金を交付する。6次産業化施設整備事業費補助金を活用して、町内畜産事業者に対し、農畜産物加工・販売施設の整備に係る支援として補助金を交付する。また、



©愛川町



事件議案

■財産の取得について

◎塵芥収集車購入

(賛成全員)

美化プラントに配備している塵芥収集車を更新します。

取得価格

1,064万

4,177円

納入者

株式会社モリタエコ
ノス神奈川支店

納入期限

令和9年3月15日

◎高規格救急車購入

(賛成全員)

半原分署に配備している高規格救急車を更新します。

取得価格

2,549万

8,000円

納入者

神奈川トヨタ自動車
株式会社特販部

納入期限

令和9年3月31日

◎高規格救急車救急資器材購入
(賛成全員)

高規格救急車に積載する救急資器材を購入します。

取得価格

1,324万

700円

納入者

株式会社ワコー商事

納入期限

令和9年3月31日



■町道路線の認定

(賛成全員)

町道として管理する必要が生じた1路線について、認定するものです。

個人総括質疑

条例・補正予算・事件議案について、熊坂議員、花上議員、渡辺議員の3名が個人総括質疑を行いました。質疑項目の一部を紹介します。

畜産振興事業費増額

増額の詳細について

教育指導管理経費増額

増額の詳細について

社会教育総務管理経費増額

増額の詳細について



令和8年 第2回定例会議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町長提出 第44号	専決処分の承認について（愛川町税条例の一部を改正する条例の制定について）	承認
町長提出 第46号	愛川町行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	可決
町長提出 第47号	専決処分の承認について（令和8年度愛川町一般会計補正予算（第1号））	承認
町長提出 第48号	令和8年度愛川町一般会計補正予算（第2号）	可決
町長提出 第49号	財産の取得について（塵芥収集車購入）	可決
町長提出 第50号	財産の取得について（高規格救急車購入）	可決
町長提出 第51号	財産の取得について（高規格救急車救急資器材購入）	可決
町長提出 第52号	町道路線の認定について	可決
町長提出 第53号	愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	可決

●意見が分かれた議案

○…賛成、●…反対

議案番号	議員名 議案等の件名	愛川の新時代				公明党			日本共産党 愛川町議員団			令和 あいかわ		無所属	議決結果
		渡 辺 基	山 中 正 樹	花 上 功	熊 坂 健 太 郎	佐 藤 り え	井 出 一 己	岸 上 敦 子	鈴 木 信 一	井 上 博 明	小 林 敬 子	茅 孝 之	阿 部 隆 之	小 島 総 一 郎	
町長提出 第45号	専決処分の承認について（愛川町国民健康保険税 条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例 の制定について）	○	※	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	承認

※議長は採決に加わりません

●陳情（審査の結果、机上配付となったもの）

番号	受理年月日	件名	陳情者
3	R8.4.27	地方財政の充実・強化を求める意見書を国に提出することを求める陳情	横浜市南区高根町1番地3号 神奈川県地域労働文化会館4階 公益社団法人 神奈川県地方自治研究センター 理事長 佐野 充



太田議員の任期は前任者の
残任期間の令和8年6月15日から令和9年10月14日までです。
会派は、令和あいかわ、常任委員会は教育民生常任委員会の所属となります。



太田正信 議員

3月25日に辞職した議員の欠員を補充するため、6月14日に執行した愛川町議会議員補欠選挙に当選した議員を紹介します。

新議員紹介

愛川町議会 会派一覧表

令和8年6月19日現在（敬称略）

会派名	人数	代表者	構成員
愛川の新時代	4	渡辺 基	山中 正樹 花上 功 熊坂 健太郎
公明党	3	岸上 敦子	井出 一己 佐藤 りえ
日本共産党 愛川町議員団	3	鈴木 信一	井上 博明 小林 敬子
令和あいかわ	3	阿部 隆之	茅 孝之 太田 正信

※小島総一郎議員は、会派に所属していません。

町議会議員補欠選挙により当選した太田正信議員が、6月19日付けで会派「令和あいかわ」に加入し、会派構成が変更となりました。
現在の会派構成は次のとおりです。

会派構成のお知らせ

可決議案の内容等

可決議案の内容・個人総括質疑等

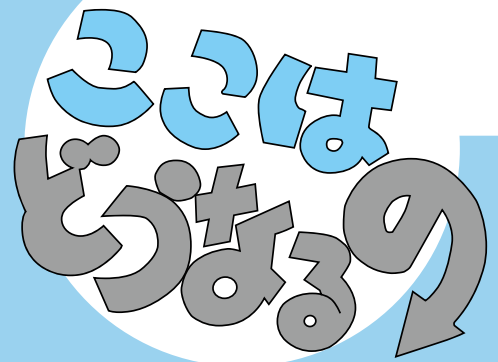
会派議決一覧・陳情情報等

一般質問

議会フイズ・お知らせ

政務活動費

一般質問



紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。インターネットでもご覧ください。
なお、第2回定例会の会議録は、9月頃には閲覧できる予定です。

※各議員の写真の横にある2次元コードを読み込むと、本会議での質問動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧になれます。

井上 博明 議員 P.5

・中学校部活動の地域移行について ほか

岸上 敦子 議員 P.8

・地域包括ケアシステムの推進について ほか

茅 孝之 議員 P.6

・若年期からの認知症予防について

阿部 隆之 議員 P.8

・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動について

鈴木 信一 議員 P.6

・補聴器購入費助成の拡充について ほか

井出 一己 議員 P.9

・子ども参加型の社会づくりについて

花上 功 議員 P.7

・本町の小中学校の将来について

熊坂 健太郎 議員 P.9

・多文化共生について

佐藤 りえ 議員 P.7

・急増する子どもの暴力行為について

渡辺 基 議員 P.10

・受援計画について



©愛川町

関係者間の調整役
人材の発掘が課題

教育長 地域クラブ活動を円滑に運営するためには、関係者間の意見や活動場所を調整する役割のコーディネーターを配置する必要があります。このコーディネーターを担う人材の発掘が課題となっています。

問 中学校の部活動移行について町教育委員会では地域移行、地域展開に向けて取り組みをしています。そこで出されている課題について伺います。

中学校の部活動 地域展開に向けて



井上 博明 議員



田代保育園閉園後の跡地活用

問 令和8年度をもって田代保育園は閉園が決定されていますが、閉園後における跡地、建物等の活用について、現時点における町の考えを伺います。

庁内検討委員会設置
慎重に協議を重ねる

町長 跡地の利活用につ

【その他の質問事項】
災害時における水の確保について ほか

【その他の質問事項】
災害時における水の確保について ほか



部活動をする中学生

若年性認知症予防 発症予防の取組み



かや 孝之 議員
たかゆき



問

認知症の発症には若年期からの生活習慣等が大きく影響します。生活習慣の改善やフレイル予防、健康づくり施策を通じて、認知症発症リスクを抑えて行く効果がありますが、町の考えを伺います。

問

若年性認知症に對しては、医療や福祉を始めとする関係団体などが連携して、住み慣れた町で暮らせるよう、その人や家族に對して、地域のサポートが生活面の支援や社会参加を支える「チームオレレンジ」の取り組みが必要となっており、町の考えを伺います。

認知症のネットワークづくり

高齢介護課長 本町では、地域包括支援センターを中心に関係機関との連携強化や情報収集の促進を図るとともに認知症サポーターの養成に取り組んでいます。今後は、支え合いの取り組みを一層推進する観点から、同サポーターがステップアップ講座を受講し、実践的な支援を行うチームオレンジの活用を考えています。

サポーターの養成へ チームオレンジ活用

町民健康講座の実施 口腔機能低下の防止

町長 町民健康講座の実施や厚木歯科医師会及びロッセとの連携協定に基づき口腔機能低下の防止にも努め、認知症の正しい理解を深めるため相談支援の充実に努めます。



地域包括支援センターを中心とした
関係機関との連携

補聴器の購入費 助成拡充の考え



すずき 信一 議員
しんいち



問

本町では、令和4年度から70歳以上の高齢者を対象に補聴器購入費助成事業が実施されましたが、補聴器は高額です。購入費助成の拡充について町の考えを伺います。

診断書は不要 利用者に配慮

町長 県内の他自治体では、申請時に医師の診断書が必要であったり、助成回数制限を設けている事例が多い中、本町は、診断書の添付は不要など、助成額を含め利用者に配慮した制度設計になっていると考えています。

選挙公報・期日前投票所増設

問

視覚障害者への選挙公報と期日前投票所の増設の考えを伺います。

情報提供に努める 直ちに増設は不要

町長 視覚障害者の方に向けた音声や点字による選挙公報は、明確な位置づけがなされていない状況ですが、関係団体と連携を図りながら、視覚障害者の皆さんに対する情報提供など、きめ細やかな対応に努めていきます。



補聴器を購入した人

期日前投票所を増設するためには、投票管理者や投票立会人、投票事務従事者の手配をはじめ、その人件費や二重投票を防止するための経費のほか、投票場所の確保など、多くの課題があります。現在、愛川・高峰・中津地区に開設し、地域的なバランスも保たれていることから、直ちに増設が必要状況にはないと考えています。

**適正な施設規模
他施設と複合化**

教育長 将来の児童・生徒数に見合った適正な施設規模を精査するとともに、他施設との複合化や統廃合について検討することとしています。

問 少子化の進行により、全国の自治体で学校の小規模化が課題となっています。本町における児童・生徒数の将来推計による減少傾向や学校施設の老朽化も進む中、小・中学校の統廃合や学区編成の検討について伺います。

小中学校統廃合
学区編成の検討



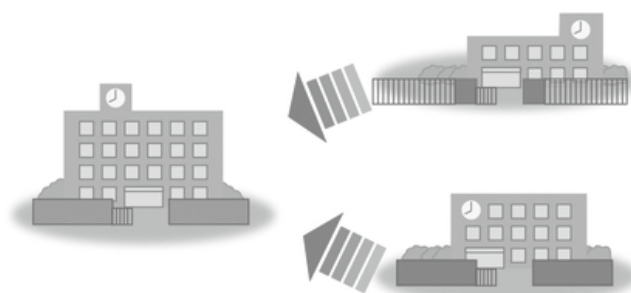
はなうえ いさお
花上 功 議員

地域コミュニティの拠点

問 本町の小中学校9校のうち7校が避難場所に指定されており、地域コミュニティの拠点として重要な役割を担っています。一方で、児童・生徒数や出生数の減少などを踏まえると、学校統廃合は将来的に検討課題になると思いますが、統廃合の基本的な考え方について伺います。

保護者の声を重視
地域住民等と推進

教育次長 国の「公立小・中学校の適正規模・適性配置等に関する手引き」によると、児童・生徒の保護者の声を重視しつつ、地域住民等の課題や協力を得ながら進めていくことが重要と記載されております。



学校統廃合のイメージ

**事例は時として発生
被害児童の安全確保**

教育長 自らの感情を上手に抑えきれず、周囲の児童とのトラブルや器物を損壊する事例が時として発生しており、その際には、まず被害児童の安全確保と加害児童を落ち着かせることを最優先に対応しています。

問 全国的に児童による暴力行為は、10年間で2倍以上に増加しています。本町における小学生の暴力行為の現状と発生時の対応について伺います。

小学生の暴力行為
現状と発生時対応



さとう りえ
佐藤 りえ 議員

学校現場で未然防止策の取組

問 学校現場における、未然防止策の取組みについて伺います。

サインの早期把握
非認知能力の育成

教育長 暴力行為を未然に防ぐためには、児童一人ひとりが「大切にされている」と実感できる安心・安全な居場所づくりが不可欠であると考えていますことから、学校内でのトラブルや悩みに関する現状把握と、その課題の発見・対応につなげる、生活アンケートの定期的な実施や、児童と対面による相談で小さなサインを早期に把握するなど、孤立させない体制を構築しています。また、道徳や学級活動の時間等を通じて、自分の気持ちを上手にコントロールし、対話により問題を解決する力を育むなど、暴力に頼らない非認知能力の育成を図っています。



子どもたちからのサイン

「人生会議(ACP)※」 現在の取り組み 今後の普及促進



ましがみ
岸上



あつこ
敦子 議員

問

人生会議(ACP)の
本町における現在の
取り組み状況と今後の普
及促進に向けた取り組み
について伺います。

特集記事掲載など 重点項目位置付け

町長 町社協と連携し
「わたしのこれからノー
ト」の無償提供や書き方
講座を開催しているほか、
広報あいかわにおいて特
集記事の掲載を行うなど、
理解の浸透を図っていま
す。次期計画においても
重点項目として位置付け
普及・啓発を着実に進め
ていきます。

※人生会議(ACP)とは、

万が一の時に備え、自分
が大切にしていることや、
どのような医療・ケアを
受けたいかを前もって考

「2027年国際園芸博覧会」

概要及び本町の認識

問

2027年国際
園芸博覧会の概要
及び本町の認識につい
て伺います。

オール神奈川の体制 PRする絶好の機会

町長 この博覧会は国家
プロジェクトとして推進
され、日本政府をはじめ、
民間企業や63の国と5つ
の国際機関の参加が既に
公表されています。オー
ル神奈川の体制のもと、
花卉園芸の魅力発信など
花(か)のまちの実施などを提案
しています。

催事の実施を予定してい
ます。町はこの国際的な
催しを、本町の豊かな自
然や地域資源を広くPRす
る絶好の機会と捉えてお
り、県へ愛川ブランド認
定の園芸事業者の協力に
よる花卉の鉢植え展示の
ほか、魅力的なスポット
を収めた写真展示やイベ
ントの紹介、さらには押
し花、和紙、木材といっ
た地域資源を活用した体
験教室の実施などを提案
しています。



2027 国際園芸博覧会
公式キャラクター

地域関係の可視化 ギャップの認識



あべ
阿部



たかゆき
隆之 議員

問

学校が理念とし
て「地域」を語る
ことと、入学式・卒業
式といった学校の象徴
的な場面において、地
域との関係がほとんど
可視化されていない現
状との間に、ギャップ
があるとは認識してい
ないのか伺います。

学校の行事等で交流 希望により式典出席

教育次長 地域ボラン
ティア等には学校行事や
地域学校協働活動の中で
交流機会を設け、式典も
希望があった場合、出席
出来るよう配慮していま
す。

「コミュニティ・スクール」 地域学校協働活動の主な課題

問

コミュニティ・
スクールの全国的
な取り組みは進んでい
る一方で、地域差や学
校種間の差が見られ、
導入済みの学校におい
ても質の維持・向上が
必要であることから、
国は、状況の把握と必
要な対応、伴走支援を
行うよう求めています。
そこで、本町における
コミュニティ・スクー
ル及び地域学校協働活
動の実績と主な課題に
ついて伺います。

質の維持と向上 人材確保や育成

教育長 課題については、
より実効性のある協議が
行われるよう、取り組み
の質の維持と向上に努め
る必要があると考えてい
ます。また人材の確保や
育成が困難になっていく
ものと考えられることか
ら、持続可能で効果的な
組織体制の構築が求めら
れています。

学びの輪、
地域の和。
未来へ繋ぐ



コミュニティ・スクールの
ロゴマーク

**計画の策定時から
意見反映に努める**

町長 「あいかわ子ども・子育てプラン」の策定にあたり、保護者や児童・生徒を対象にアンケートを行い、子どもたちの意見を反映し、学校施設にはWi-Fi環境を整備するなど、様々な取り組みを行ってきました。



こども基本法のパンフレット
(こども家庭庁HPより)

**異なる文化相互理解
ルール等の理解促進**

町長 交流イベントやボランティアによる日本語教室を開催し、異なる文化の相互理解を深めるとともに、外国語版生活ガイドブックの作成や生活講座の開催等により、生活習慣や基本的なルール等について理解の促進にも努めています。



英語、ポルトガル語、スペイン語、
ベトナム語、タガログ語、日本語の
6言語の生活ガイドブック

問 こども基本法は、「子どもの意見を尊重する」ことを理念の一つとして掲げ、その取り組みが全国の自治体で進められています。本町の現状とその取り組みについて伺います。

こども基本法 現状と取組み



井出 かずみ 議員



**家庭センター設置
環境づくりを検討**

子育て支援課長 小・中学校では、端末による「振り返りシート」等を活用

し、教職員と意見共有できる環境を整えています。また、「意見箱」を設置するなど、安心して思いを語れる場を提供しています。さらに、本年4月に「こども家庭センター」を設置したことから、子どもの意見や相談がこれまで以上にしやすくなる環境づくりについて、今後、家庭センターを中心に、検討を進めていきます。

問 意見を发表しづらい子どもたちについて、偏りや発表のハードルが起きることなく、より多くの子どもたちの声を反映させるために、今後どのような取り組みや改善策を検討しているのか伺います。

発表しづらい子どもの改善策

多文化共生社会 本町の現状認識



熊坂 けんたろう 議員



問 外国籍住民と地域住民同士の相互理解と協力を深めることは、多文化共生社会の実現に向けて、必要不可欠だと思いますが、本町の現状認識と取り組みについて伺います。

問 生活習慣の違いから、ごみ出しのルールを守らない、大音量で音楽を聴いてうるさいなど、ごく一部だと思いますが、トラブルもあると聞いています。このようなトラブルが増えてくると、お互いに認め合いながら共に生きていくことが困難になりかねません。外国籍住民に対する生活上のルールの周知や啓発について伺います。

**生活に関わる情報
多言語の案内文書**

デジタル・協働推進課長 本町では、ごみ出しのルールをはじめ、生活マナーや防災情報、各種行政手続きなど、日常生活に関わる情報について、多言語による案内文書の作成や、やさしい日本語を活用した情報発信に努めるとともに、必要に応じて通訳・翻訳サービスの活用を行っています。

生活上のルールの周知や啓発



わたなべ もとゐ 議員
渡辺 基

支援をスムーズに 独立した受援計画



問 他の自治体などからの支援をスムーズに受け入れるために独立した受援計画を策定する考えについて伺います。

地域防災計画 着実に進める

町長 現行の地域防災計画を基本に様々な取り組みを着実に進めていくことが必要であると考えており、受援計画を独立して策定する必要には至っていません。

実際の災害を想定した訓練

問 受援計画に基づく実際の災害を想定した訓練を行う考えについて伺います。

関係機関と連携 受援体制の強化

関との連携のほかに、神奈川県警、自衛隊、在日米軍からの応援部隊の受け入れに加え、情報共有や物資搬送等を想定した実践的な訓練を取り入れるなど、受援体制の強化に努めました。

町長 昨年の総合防災訓練では、国や県との関係機



昨年の総合防災訓練
ヘリからの救援物資搬入訓練

研修会等参加 報告

全国町村議会議長・
副議長研修会

■日付 5月26日

■会場

東京国際フォーラム

■出席議員

山中正樹 議長

小林敬子 副議長

■講師

一般財団法人地域活性化センター理事長

林崎 理氏

東海大学教養学部人間

環境学科教授

万城目 正雄氏

ほか

■研修テーマ

・「地方創生の先行き」
地域未来戦略とともに」
・「人口減少社会における外国人材の確保・育成の実践」ほか

『マチイロ』 アプリの紹介

本町を含む各自自治体の広報誌が閲覧できる無料アプリ『マチイロ』でも「議会だよりあいかわ」をお届けしています。スマートフォンやタブレットなどで、手軽にご覧になることができます。左記にある2次元コードから専用ページにリンクしますので、ぜひご利用ください。



意見交換会を延期

※第13回意見交換会については、台風接近のため延期となりました。新たな開催日が決定いたしましたら、広報あいかわやホームページ等でお知らせいたします。



議会だよりは、愛川町録音ボランティアグループ「かえでの会」のご協力により、視覚障がい者用にCD化されています。
ご希望の方は、社会福祉協議会へご連絡ください。
TEL 046-285-1211
(内線3792)
左記の2次元コードから、前号(第189号)の音声聞くことができます。

第40回 議会クイズ

問1 高規格救急車の取得価格はいくらですか

- ① 1, 549万8千円 ② 2, 549万8千円 ③ 3, 549万8千円

問2 新議員の任期はいつまでですか

- ① 令和9年10月14日 ② 令和10年10月14日 ③ 令和11年10月14日

問3 今回一般質問を行った議員は何人ですか

- ① 3人 ② 5人 ③ 10人

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想(紙面の見やすさなど)をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 7月31日(金)(郵送の場合は当日消印有効)

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392

角田251-1 議会事務局

●ファクスの場合 046-286-5021

●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

●オンラインでの場合 右記の2次元コードを活用して、応募ができます。

☆正解と当選者名は次号で発表します。



第39回議会クイズの 答えと当選者

前号の議会クイズの正解と
当選者は次のとおりです。

《正解》

問1 ②282億

問2 9,422万6千円

問3 ③74項目

③愛川町役場 4階会議室

《当選者》

黒川 亜紀 様

小島 直美 様

渡辺 幸枝 様

以上3名

クイズの答えは議会だよりの中
にあるよ。最初から最後までよく
読んでね。正解者の中から3
名の方に商品券をお送りいたします。



©愛川町

令和8年第3回定例会日程(予定)

月	火	水	木	金	土	日
8/31	9/1	2	3	4	5	6
本会議 (提案説明)		本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)			
7	8	9	10	11	12	13
本会議 (個人総括質疑・討論・採決)	本会議 (会派代表総括質疑)			総務建設 常任委員会		
14	15	16	17	18	19	20
教育民生 常任委員会	総務建設 常任委員会	教育民生 常任委員会				
21	22	23	24	25	26	27
敬老の日	国民の休日	秋分の日		本会議 (委員長報告・ 質疑・討論・採決)		

次回定例会のお知らせ

令和8年第3回愛川町議会定例会の日程は、左記のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。日程が変更になる場合もありますので、詳細は議会事務局にお問い合わせください。

また、その運営について協議・決定する議会運営委員会は、8月21日に開催する予定です。

なお、町ホームページでも次回定例会の日程をご覧になれます。

令和7年度 政務活動費収支報告

政務活動費は、条例に基づき、申請のあった会派及び会派に属さない議員に対して、調査研究等に必要な経費の一部として、議員1人あたり月額1万円（年額12万円）が交付されます。なお、残額が生じた場合には町へ返金し、交付額を超えた分の支出は議員が自己負担しています。

各会派から提出された令和7年度分の政務活動費交付金の収支報告は下記のとおりです。また、それぞれの活動報告書については、議会事務局で閲覧できます。

政務活動費収支及び政務活動報告

(単位：円)

会派名	所属議員数	調査研究費	研修費	広報・広聴費	資料作成費	資料購入費	事務費	支出合計	収入額	収支差額 (▲不足額)
		行政視察等に要する経費	研修会等参加に要する経費	広報・広聴活動に要する経費	活動に必要な資料を作成するために要する経費	図書・資料の購入に関する経費	活動に係る事務の遂行に要する経費		所属議員1人あたり12万円	
愛川の新時代	5人	357,292	98,943	35,572	0	78,982	30,013	600,802	600,000	▲802
公明党	3人	67,485	187,242	26,674	0	75,481	3,510	360,392	360,000	▲392
日本共産党 愛川町議員団	3人	0	9,000	498,834	0	0	10,890	518,724	360,000	▲158,724
令和あいかわ	3人	224,019	9,000	133,100	0	0	30	366,149	360,000	▲6,149

◇収入（交付額）を超えた支出（▲不足額）は、議員の自己負担となります。

◎各会派視察・研修内容

会派名	視察先・研修名	視察・研修内容
愛川の新時代	東京都町田市	町田市の高齢者施策について
	愛知県幸田町	地域防災の取り組みについて
	三重県鳥羽市	議会改革の取り組みについて
	三重県志摩市	移動販売事業の取り組みについて
	静岡県長泉町	地域産業の創出について
	市町村議会議員特別セミナー	・自治体の災害初動対応 ・自治体と連携して公共交通を守る
	埼玉県朝霞市	官民連携エリアプラットフォーム「あさかエリアデザイン会議」について
	群馬県明和町	1. 福祉タクシー事業の取り組みについて 2. 乗り合い送迎サービス「チョイソコめいわ」の取り組みについて
	群馬県邑楽町	1. 移動支援の拡充に関する取り組みについて 2. 福祉タクシー利用券の交付制度の取り組みについて
公明党	東京都町田市	町田市の高齢者施策について
	第25期自治政策講座 in 東京 2	若返るまちづくりへ
	山梨県北杜市	奨学金返還支援事業助成金制度について
	埼玉県ふじみ野市	介護認定の効率化に向けた認定調査システムの導入について
	第25期自治政策特別講座	徹底解説！基礎から学ぶ予算審議 ほか
	神奈川県開成町	環境配慮型庁舎の建設について
令和あいかわ	大阪府茨木市	ダムパークいばきた（官民連携の公園整備による、にぎわいの創出について）
	滋賀県甲賀市	日本版ライドシェアについて
	岐阜県各務原市	「チョイソコかかみがはら」の取り組みについて
	愛知県豊田市	多様なモビリティ運用について

可決議案の内容等
個人総括質疑等
可決議案の内容・陳情・会派議決一覽等
一般質問
議会知raisé
政務活動費



©愛川町

会派で視察した報告書の一部を紹介します。
また、その他の視察報告書は、ホームページに公開しています。
※下記2次元コードからホームページにリンクできます。

令和あいかわ

大阪府茨木市へ視察

【テーマ】

官民連携の公園整備によるにぎわいの創出について など

【事業の所管】

茨木市では、地域住民と民間事業者が連携し、ダム周辺を観光・交流拠点として整備していた。また、日本一長いつり橋などを活用した観光振興により、多くの来訪者を呼び込み、地域活性化につなげている。

【愛川町への活用】

宮ヶ瀬ダムや県立あいかわ公園など豊かな地域資源を有している。今回の視察を通じて、地域住民の声を生かした施設づくりと、民間活力を活用した魅力創出の重要性を学んだ。

今後の水源地跡地の利活用においては、地域住民・民間事業者・行政が連携し、点在する観光資源をつなぎながら、町全体の活性化につなげていくことが重要であると感じた。

愛川の新時代

群馬県明和町へ視察

【テーマ】

乗り合い送迎サービス「チョイソコめいわ」の取り組みについて など

【事業の所管】

明和町では、予約制の乗り合い送迎サービス「チョイソコめいわ」を導入し、高齢者の移動手段の確保や外出支援に取り組んでいる。また、見守りや社会参加の促進にもつながる地域福祉を支える仕組みが構築されていた。

【愛川町への活用】

今回の視察を通じて、移動支援サービスは単なる交通手段の確保だけでなく、高齢者の外出機会の創出や見守り、地域とのつながりづくりにもつながることを学んだ。

今後、高齢化の進展を見据え、民間事業者との連携を図りながら、地域の実情に合った移動支援のあり方を検討していくことが重要であると感じた。

公明党

神奈川県開成町へ視察

【テーマ】

環境配慮型庁舎（ZEB 庁舎の建設について）

【事業の所管】

開成町の新庁舎は、地域資源を活用した省エネルギー設備や太陽光発電を導入し、「Nearly ZEB[※]」認証を取得した環境配慮型庁舎。また、防災拠点としての機能に加え、ワンストップ窓口やバリアフリー化など、住民サービスの向上にも配慮されていた。

※「Nearly ZEB」とは、エネルギー消費量を基準値から75%以上削減した建築物

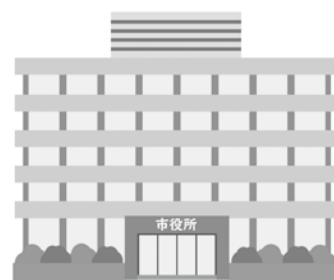
【愛川町への活用】

建築から50年が経過した本町の庁舎について、開成町の新庁舎は、Nearly ZEB 認証を取得した高い省エネ性能と災害時の拠点機能を持ち、さらに住民サービス向上のためのユニバーサルデザインや窓口配置が整備されていた。

今後の新庁舎整備を検討するうえで、大変参考となるものであった。



©愛川町



あいかわ・ほっこい写真館

夏の訪れを感じる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今号では、委員が愛川町を巡る中で出会った風景や瞬間を、一枚一枚丁寧に切り取りました。

何気ない日常の中にあるやさしさを感じながら、

“ほっこり”としたひとときをお楽しみいただければ幸いです。



関場坂のAI蛙



自治会の盆踊り大会



何に見える?ワン



中津川土手道



作者の他者を思う心にうたれる



第2号公園バスケットボールコート



関場坂下から



季節の花でおもてなし

◎議会クイズは11ページに掲載しています。

議会だよりあいかわ第191号は、令和8年11月15日発行・配布予定です。

編集後記

令和8年第2回定例会では、令和8年度一般会計補正予算や愛川町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定等全10件の議案を審議し、可決しました。また、6月14日に執行した、愛川町議会議員補欠選挙にて当選された太田正信議員を紹介しています。

今回、6月27日に開催される予定でした町民との意見交換会は、台風7号、8号とダブル台風の影響で延期となりました。延期日につきましては決まりしだい、広報していきます。今後も広報広聴活動のさらなる充実に努めていきます。

広報広聴常任委員会

委員長 熊坂健太郎
副委員長 佐藤りえ
委員 茅孝之
委員 花上功
委員 阿部隆之
委員 鈴木信一
委員 井出一己
委員 井上博明